

NY マーケットレポート (2014年8月4日)

NY市場では、主要な米経済指標の発表などがなく取引材料に乏しい中、先週末の米雇用統計の結果を受けて、米FRBによる早期利上げ観測が後退したことが引き続き意識され、ドルはやや軟調な動きとなった。また、欧米の株価が軟調な動きとなったことを受けて、クロス円も序盤から軟調な動きとなった。しかし、午後に入ると株価が反発となり、引けにかけて堅調な動きとなったことから、ドル円・クロス円は堅調な展開が続いた。

2014/8/4 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.58	102.74	102.49
EUR/JPY	137.76	137.91	137.62
GBP/JPY	172.61	172.89	172.45
AUD/JPY	95.58	95.74	95.42
EUR/USD	1.3429	1.3430	1.3416

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.67	102.54
EUR/JPY	137.82	137.67
GBP/JPY	172.80	172.49
AUD/JPY	95.62	95.54
EUR/USD	1.3431	1.3416

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15474.50	-48.61
ハンセン指数	24600.08	+67.65
上海総合	2223.33	+38.03
韓国総合指数	2080.42	+7.32
豪ASX200	5540.88	-15.50
インドSENSEX指数	25723.16	+242.32
シンガポールST指数	3318.40	-26.02

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6677.52	-1.66
仏CAC40	4217.22	+14.44
独DAX	9154.14	-55.94
ST欧州600	331.15	-0.76
西IBEX35指数	10496.20	-17.8
伊FTSE MIB指数	20381.39	+18.98
南ア 全株指数	51239.56	+321.78

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.56	102.63	102.41
EUR/JPY	137.65	137.74	137.42
GBP/JPY	172.90	172.94	172.47
AUD/JPY	95.71	95.75	95.53
NZD/JPY	87.43	87.47	87.26
EUR/USD	1.3424	1.3425	1.3409
AUD/USD	0.9333	0.9337	0.9314

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16569.28	+75.91
S&P500	1938.99	+13.84
NASDAQ	4383.89	+31.25
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	休 場	
🇧🇷 ボルサ指数	44594.66	+608.55
🇨🇦 ボベスバ指数	56616.33	+713.46

*カナダ市場はCivic Holidayのため休場

8/5 経済指標スケジュール	
08:30	【豪】7月AiGサービス業指数
10:30	【豪】6月貿易収支
10:45	【中】7月HSBC非製造業PMI
11:30	【香港】7月購買部景気指数
13:30	【豪】政策金利発表
16:50	～ 17:30
	【仏】【独】【欧】【英】7月非製造業PMI
18:00	【欧】6月小売売上高
23:00	【米】7月ISM非製造業景況指数
23:00	【米】6月製造業受注指数
23:00	【米】8月IBD/TIPP景気楽観指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1288.90	-5.90
NY 原油	98.29	+0.41
CMEコーン	369.25	+7.00
CBOT 大豆	1079.50	+21.00

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.47%	0.47%
3年債	0.90%	0.92%
5年債	1.65%	1.67%
7年債	2.14%	2.15%
10年債	2.49%	2.50%
30年債	3.30%	3.28%

8/5 主要会議・講演・その他予定

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 102.62 ユーロ/円 137.69 ユーロ/ドル 1.3419

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6708.54	+29.36	ダウ INDEX FUTURE	16468	+52
仏 CAC40	4232.34	+29.56	S&P500 FUTURE	1925.90	+7.40
独 DAX	9214.72	+4.64	NASDAQ FUTURE	3887.00	+13.75

(出所:SBILM)

◀ NY 外国為替市場 序盤 ▶

序盤の外国為替市場は、休暇期間中で市場参加者が少なく、主要な米経済指標の発表もないことから取引材料に乏しく、主要通貨は小動きの展開が続いている。

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

7月シンガポール購買部景気指数 51.5 (予想 50.6・前回 50.5)

7月シンガポール電子産業指数 52.4 (予想 50.7・前回 50.7)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

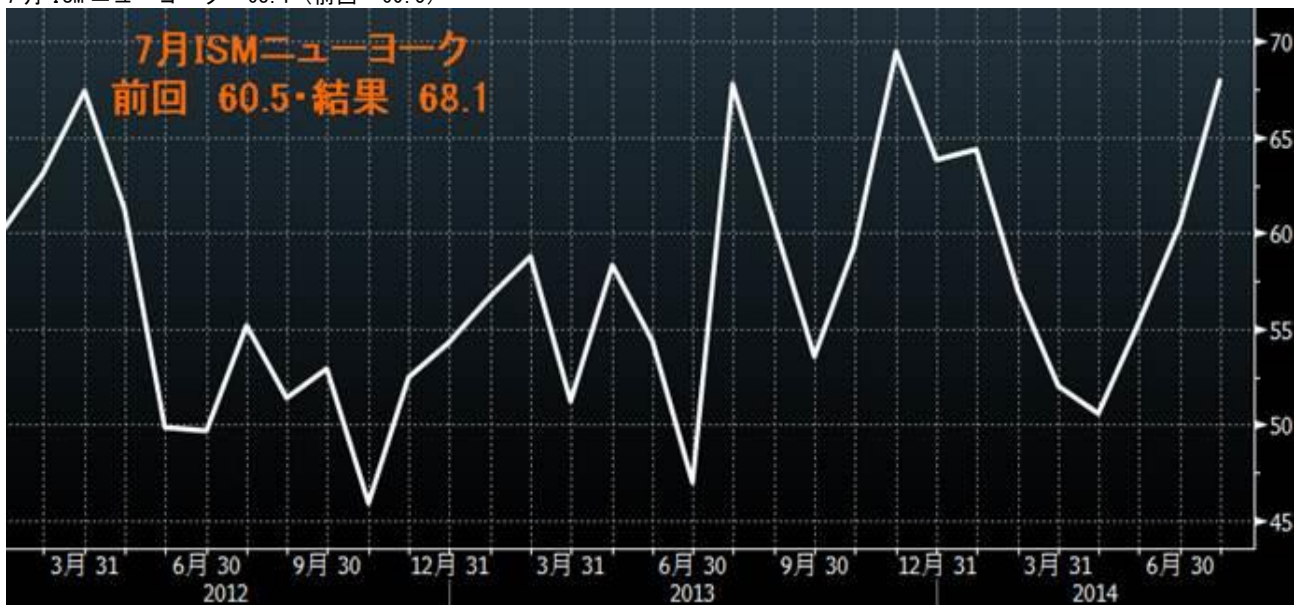
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16498.76	+5.39
ナスダック	4362.85	+10.21

(出所:SBILM)

22 : 45

< 経済指標の結果 >

7月ISMニューヨーク 68.1 (前回 60.5)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 30

≪ NY 株式市場 序盤 ≫

序盤の株式市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、経営危機に陥ったポルトガルの大手銀行の救済策発表を好感した買いが入る一方で、中東情勢の不透明感などを嫌気した売りが出るなど、序盤から主要株価はもみ合いの展開が続いている。

≪ 経済指標のポイント ≫

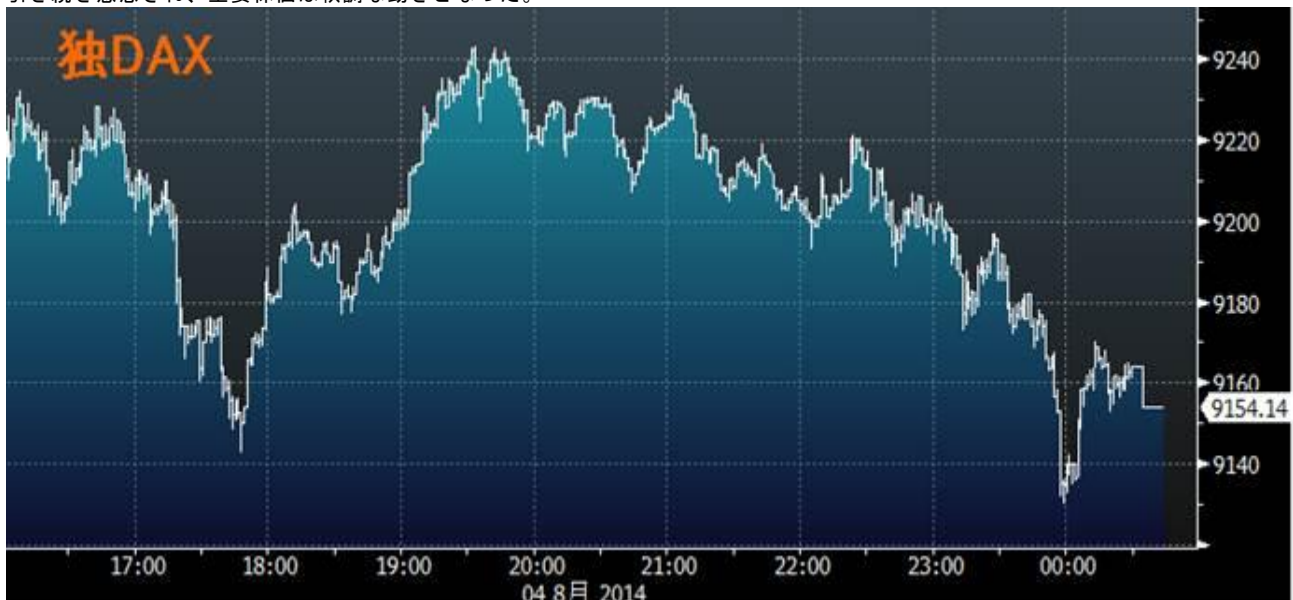
コンファレンスボード（全米産業審議会）が発表した 7 月の雇用トレンド指数は、前月比+0.3%の 120.31、前年同月比は+6.6%となった。6 月の指数は当初発表の 119.62 から 119.92 に上方修正された。コンファレンスボードの関係者は、「過去 6 ヶ月間の雇用トレンド指数の伸び率は、最近 2 年間で最も大きく、今後も雇用の堅調な回復が続くことを示唆している」とし「最近の経済活動の改善で、企業のニーズと採用意欲が高まりそうだ」と述べた。雇用トレンド指数は、消費者信頼感指数の就労関連指数や失業保険給付申請件数など、雇用に関する 8 つの指数を基に算出する。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6677.52	-1.66
仏 CAC40	4217.22	+14.44
独 DAX	9154.14	-55.94
ストック欧州 600 指数	331.15	-0.76
ユーロファースト 300 指数	1330.12	-2.56
スペイン IBEX35 指数	10496.20	-17.80
イタリア FTSE MIB 指数	20381.39	+18.98
南ア アフリカ全株指数	51239.56	+321.78

(出所:SBILM)

≪ 欧州株式市場 ≫

欧州株式市場は、経営危機に陥ったポルトガルの大手銀行の救済策が発表されたが、EU の対ロシア追加制裁の経済への悪影響が引き続き懸念され、主要株価は軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16478.57 (-14.80)、S&P500 1926.13 (+0.98) ナスダック 43463.92 (+11.28)

《欧州のポイント》

①ルーマニア中銀は、政策金利を0.25%引き下げ3.25%と過去最低に引き下げた。豊作でインフレ加速リスクが抑えられ、2月以来の利下げに踏み切った。

②7月の英建設業購買担当者景気指数は62.4で、6月の62.6から小幅低下した。しかし、雇用改善や供給不足で2003年11月以来の高水準となったほか、市場予想の62.0を上回る結果となり、15ヵ月連続で改善・悪化の判断基準となる50を上回った。建設セクター雇用指数は、1997年4月の調査開始以降で最高水準となった。作業量の増加や下請け業者の不足懸念が雇用指数の改善につながった。

③7月のトルコ消費者物価指数は、前月比0.45%、前年比9.32%の上昇となった。トルコ中銀の予測を上回る結果となり、中銀の一段の利下げへの阻害要因となる可能性が指摘されている。国内生産者価格は、前月比で0.73%、前年比で9.46%の上昇となった。要因としては、食料品価格の影響が引き続き大きく、7月の上昇率は前年比12.56%だった。トルコ中銀総裁は、四半期インフレ報告で、食品価格の上昇は構造的で、インフレの抑制が困難な場合はインフレ目標自体を再考する必要があるとの発言をしている。

④ドイツ経済省は、防衛機器大手ラインメタルによるロシアへの戦闘シミュレーター機器の輸出を停止したと確認した。ウクライナ情勢をめぐりEUが先週発動したばかりの対ロ制裁は新たに防衛関連の契約を結ぶことを禁じているが、既に締結した契約にも適用した格好となった。経済省の報道官は、EU制裁に鑑み、戦闘訓練所輸出の許可を取り消したと明らかにした。

⑤ユンケル次期欧州委員長は、サマラス首相との会談後に記者団に対して、ギリシャとEUの当局者らはこれまで、ヘアカットではなく、債務の返済期限の延長や融資の利率の引き下げが実施される公算が大きいとの見方を示している。ギリシャに対する追加支援策の協議は今後進むとみられる。ユンケル氏は11月1日に就任する。

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、新規の手掛かり材料に欠ける中、前週末の米雇用統計を受けてFRBが利上げ時期を前倒しするとの観測が後退したことが引き続き材料視され、買いが先行した。

午前の利回りは、30年債が3.27%（前週末3.28%）、10年債が2.47%（2.49%）、7年債が2.12%（2.15%）、5年債が1.64%（1.66%）、3年債が0.90%（0.92%）、2年債が0.47%（0.47%）。

3:00

FRB融資担当四半期調査～「米銀は、広範な分野で融資基準を緩和」

3:30

NY金は、中心限月が前日比5.90ドル安の1オンス=1288.90ドルで取引を終了した。

4:05

米財務省～7-9月期の借入所要額は1920億ドル。

4:10

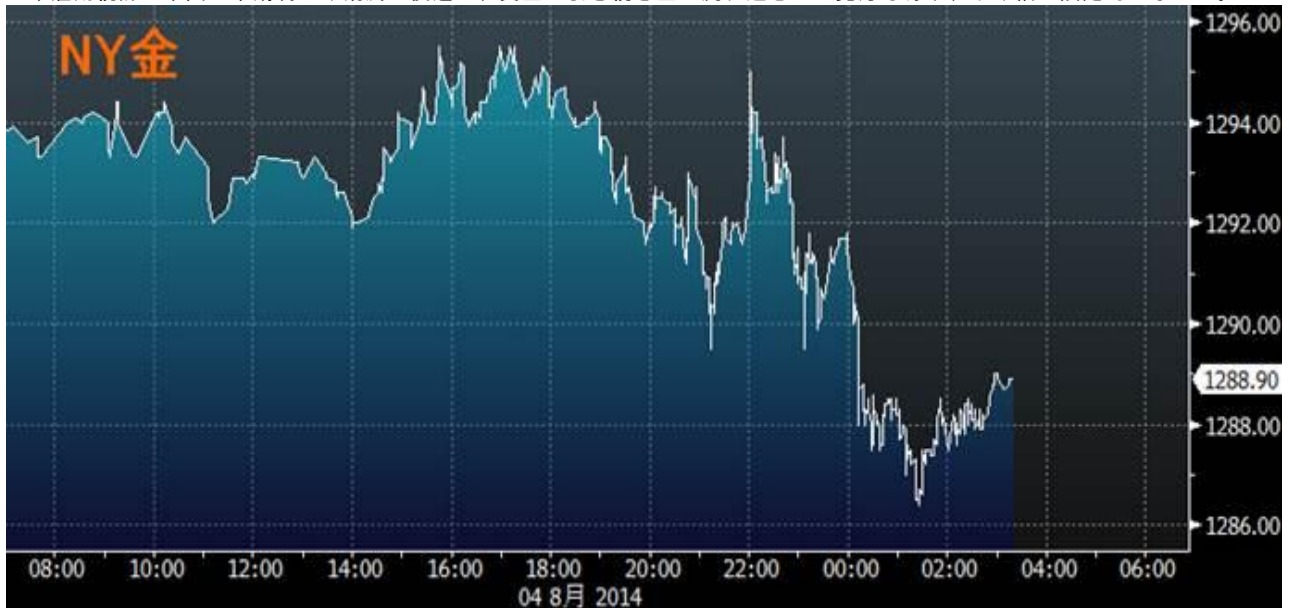
NY原油は、中心限月が前日比0.41ドル高の1バレル=98.29ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1288.90	-5.90
NY 原油	98.29	+0.41

(出所:SBILM)

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、米国株の上昇につれて比較的安全な資産とされる金の需要が弱まり、売りが優勢となった。ただ、前週末に発表された米雇用統計で米国の早期利上げ観測が後退し、資金が引き続き金に流れ込むとの見方もあり、下げ幅は限定的となった。



(出所:ブルームバーグ)

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、前週末に約半年ぶりの安値水準まで下落したことを受けて、割安感から買い戻しの動きが優勢となった。また、リビアやイラクなどの情勢悪化も意識され、6営業日ぶりに反発した。



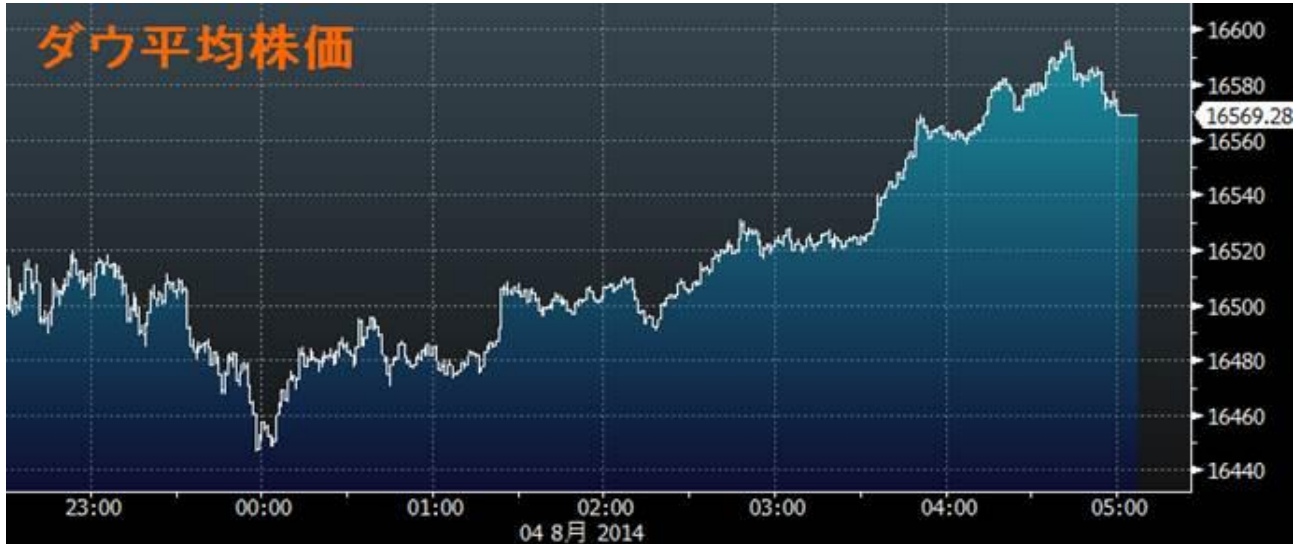
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16569.28	+75.91	16596.22	16447.20
S&P500 種	1938.99	+13.84	1942.92	1921.20
ナスダック	4383.89	+31.25	4395.38	4343.03

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、経営危機に陥ったポルトガルの大手銀行の救済策発表を好感した買いが入る一方で、中東情勢の不透明感などを嫌気した売りが出るなど、序盤から主要株価はやや上値の重い展開となった。しかし、午後に入ると主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤からやや軟調な動きとなり、一時前週末で46ドル安まで下げる動きとなった。しかし、その後は堅調な動きとなり、引けにかけて堅調な展開が続いた。



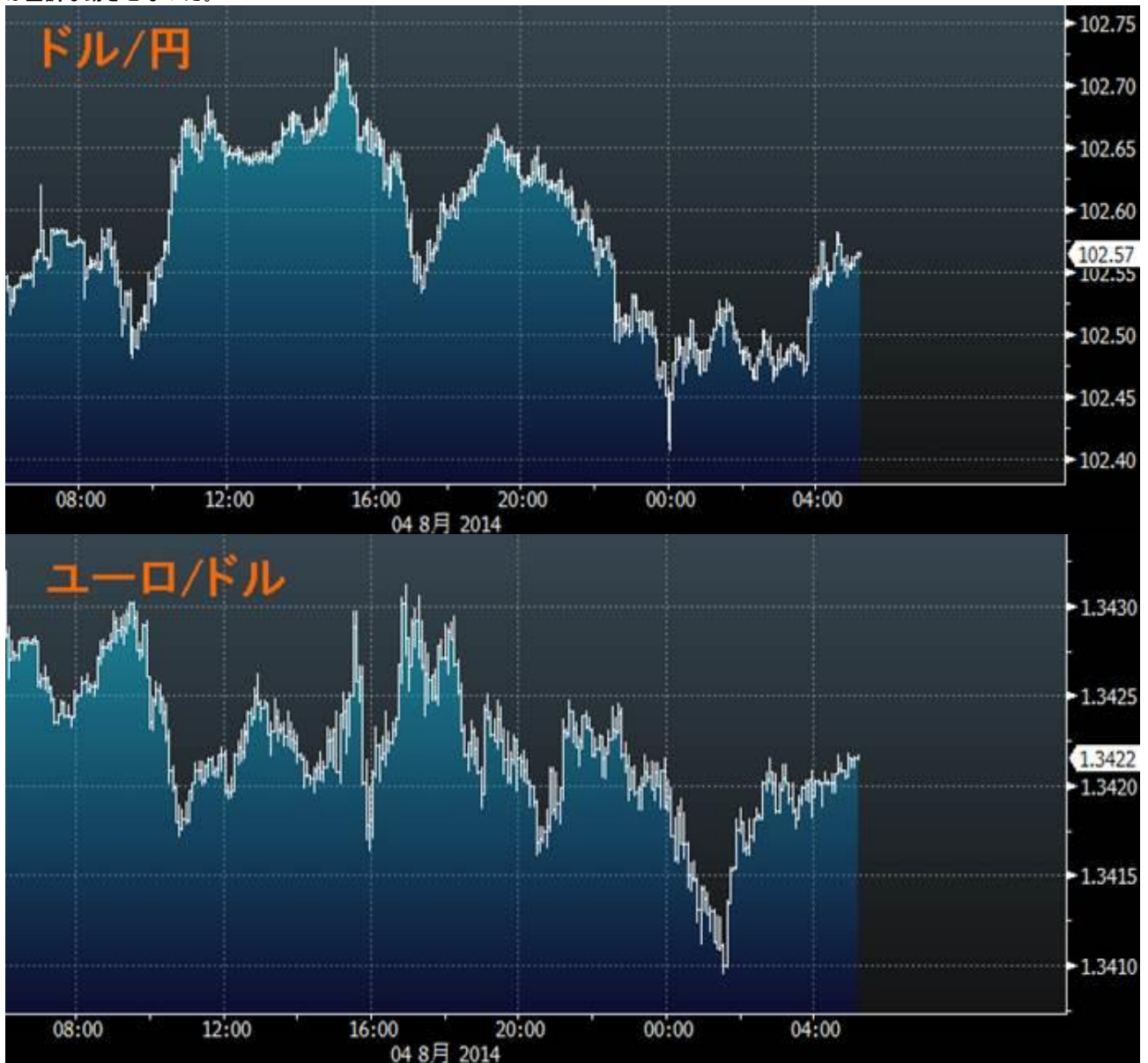
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.56	102.63	102.41
EUR/JPY	137.65	137.74	137.42
GBP/JPY	172.90	172.94	172.47
AUD/JPY	95.71	95.75	95.53
NZD/JPY	87.43	87.47	87.26
EUR/USD	1.3424	1.3425	1.3409
AUD/USD	0.9333	0.9337	0.9314

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、主要通貨は軟調な欧米の株価動向を背景に、ドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。しかし、午後に入ると、株価が堅調な動きとなったことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。